

授業研究部(中学校)9月例会

9月11日(水)、イーブルなごやにて小学校の授業研究部と合同で6月例会を開催しました。稲永小学校の 田部 翔理 先生を講師にお迎えし、「『国語科における小学校と中学校の連携』について」というテーマで、義務教育の9年間で国語科として子どもたちの力をどのように伸ばしていくのかについて、参加者全員で考えました。



○ はじめに

5～6人のグループに分かれ「えんたくん」を使用したミーティングを行いました。「えんたくん」は、右の写真にあるように、丸い形をしたホワイトボードを、参加者の膝の上に乗せ、文字通り「ひざを突き合わせて」対話することができるツールです。

今回は、小・中それぞれの視点から、お互いに聞いてみたいことや気になっていたことを「えんたくん」に書き出し、答えを伝えあいながら、小学校や中学校の「あるある」を知っていきました。



○ 国語科における小・中の連携について

えんたくんミーティングの後、田部先生から「国語科における小・中の連携」についてお話をいただきました。「ナゴヤ学びのコンパス」では、「重視したい学びの姿」は小学校でも中学校でも共通であることを確認しました。また「小4 ごんぎつね」と「中2 走れメロス」の授業形式が「単元の目標を示す→読みを深める→言語活動→ふりかえり」と共通であることを挙げ、子どもたちが経験するカリキュラムが連続することが大切であることを教えていただきました。

最後に、小・中の連携を進めるとは、今回の例会で最初に行ったように、「小学校と中学校でどのような授業を行っているのか」等、小・中学校で実際に進めている教育活動の内容を知ることからスタートして、互いの理解を深めることがとても重要であると話されました。

すでに中学校ブロックで、小・中連携した取り組みをしていた参加者もいました。「小・中の連携を進めることは大変だけれども、とても意味のあることだ」と多くの方が発言されていました。

授業研究部は、できるだけ日ごろ先生方が感じている疑問や悩みを解決できる場でありたいと考えています。もし、授業研究部(中学校)で扱ってほしい教材や分野があれば下記までお知らせください。よろしくお願いします。

○ 問い合わせ先：大森中学校 熊谷

Tel:798-2900 FAX:799-0465 E-mail:kumagai13@nagoya-c.ed.jp

※ スズキ校務のメッセージでも構いません

○ 次回例会：10月9日(水) 18:30～ イーブルなごや